

令和7年第1回富谷市議会定例会

一般質問通告書

質問順	氏名	質問順	氏名
1	菊池 美穂	8	小松 大介
2	青柳 信義	9	畠山 由美
3	菅原 福治	10	出川 博一
4	佐藤 浩崇	11	荒谷 敏
5	浅野 直子	12	渡邊 清美
6	長谷川る美	13	村上 治
7	須藤 義		

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1
受付月日	2月17日(月)
受付時間	8:47

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 2月17日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 7 番 菊池 美穂

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	菊池 美穂
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 高齢者の家事援助支援について

【質問要旨】－簡明に－

全国的に超高齢社会に移行する中、同時に核家族化や地域の繋がり希薄化が進んでおり、本市においても、高齢者の一人世帯や在宅介護を受ける高齢者世帯の増加が予測され、掃除やごみ出しなど、これまでできていた家事を行うことが難しくなる高齢世帯は、今後増えていくことが懸念されます。

高齢者が要支援対象となる前段階で、介護保険(生活援助)同等の日常生活上必要な援助サービスを行うことで、ごみ屋敷化など住環境の不衛生化や、生活リズムの乱れ等に起因する、高齢者のセルフネグレクト化を防ぐだけでなく、認知症の早期発見や、孤独死の防止、そしてなにより生活の質の向上による、高齢者の「自立」に繋がると考えます。

現在、シルバー人材センターにて、有償ヘルプサービス事業が実施されていますが、その活用や拡充、助成、あるいは、市独自での制度づくり等、市としてできることはないでしょうか。また、令和元年度に総務省が創設した高齢者のごみ出し支援への特別交付税措置を活用した支援など、各部局の連携や仕組みづくりの検討を求めます。

以上を踏まえ、本市の高齢者が健康で自立した生活を維持するため、今後の家事援助支援のあり方について、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 今後の高齢化を踏まえ、高齢者の介護予防、また、自助支援等の観点から、家事援助支援の重要性について、見解は。
- 2 高齢者へのヒアリング、アンケート等による実態把握、ニーズ調査が必要では。
- 3 シルバー人材センターの有償サービス事業の利用者負担の軽減や、助成、周知のお手伝い等は考えられませんか。
- 4 市独自で、独居等の高齢者への生活補助制度をつくることはできませんか。
- 5 高齢者のごみ出し支援の必要性及び特別交付税措置を活用した方策は考えられませんか。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	2
受付月日	2月17日(月)
受付時間	8:59

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 2月17日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 15 番 青柳 信義

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	青柳 信義
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 本市における多文化共生の取り組みについて

【質問要旨】－簡明に－

多文化共生は、異なる国籍や民族の人々が、互いの文化的違いを認め尊重しあい、対等な関係を築きながら地域社会の一員としてともに生きていくことを指します。地域の一員として日本人も外国人もともに認め合い、互いに協力しながら社会を発展させていこうという考え方です。

日本では、人口減少と少子高齢化にともない人手不足が深刻な問題となっています。この問題を解消するために、政府は2019年に出入国管理法を改正し、外国人の人材受け入れ拡充を図っています。こうした背景により、日本で働く外国人が増加し、多文化共生の必要性も高まっています。

本市として、今後どのように多文化共生と向き合っていくのか質問いたします。

【質問項目】－列記－

- 1 令和3年1月末～令和7年1月末時点までの外国人住民者数をそれぞれお伺いします。
 - 2 災害発生時の被害想定区域や避難場所を示す、ハザードマップ外国語版は作成しているかお伺いします。
 - 3 外国人住民に向けた防災教育や避難情報の提供方法や災害時に言語の壁を克服するための支援体制、外国人住民が適切な避難行動を取るための対策は行っているのかお伺いします。
 - 4 外国人住民向けに行政情報、生活ガイド、医療情報などの多言語対応の行政サービスを提供する体制は整っているかお伺いします。
 - 5 技能実習生など特定技能の外国人労働者が適切な労働環境で働けるよう、どのような支援を行っているのかお伺いします。
 - 6 総務省が推進している、多文化共生の推進に係る指針・計画の策定を本市では行っているのかお伺いします。
-

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	3
受付月日	2月17日(月)
受付時間	10:41

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 2月17日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 17 番 菅原 福治

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	菅原 福治
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 「富谷市2050年ゼロカーボン戦略」の状況について

【質問要旨】－簡明に－

本市は、2050年、令和32年までに脱炭素社会の実現に向け、二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言、また、「ゼロカーボン戦略」を策定し、再エネ水素サプライチェーンの普及によるまちづくりを始め、脱炭素社会の実現、再エネ導入の目標に向けて取り組んでいます。

一方、昨年世界においては、世界平均気温の上昇を1.5度以内に抑える「パリ協定」目標ですが、24年は1.6度と単年初の温暖化抑制目標を超えとなりました。目標未達成は、豪雨、豪雪、干ばつ、山火事など、異常気象のリスクが上がり、更に気候変動が止まらない状況です。

昨年、日本政府の温暖化計画においても、2035年度排出削減目標を66%から60%に下方修正した事は、CO2世界5位の大量排出国である日本の責任が問われます。「富谷市2050年ゼロカーボン戦略」においても、市民一人一人に取っても難しく分かりにくく、これからは、市民・事業者・行政の3者が、持続可能な地域を目指し、未来へ繋ぐためにも、本市は、さらに他自治体に先駆け挑戦し続けなければなりません。「富谷市2050年ゼロカーボン戦略」の現状と今後について、伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 政府の温暖化計画についての見解は。
- 2 「富谷市2050年ゼロカーボン戦略」の進捗状況に対する見解について。
- 3 市内企業における再生可能エネルギー普及促進に対する事例について。
- 4 ゼロカーボンシティを目指している、市民向けロードマップは十分か。
- 5 太陽光発電の導入を促進するため、市保有の未利用地への大型太陽光発電導入状況と、今後について。
- 6 農地を活用し、営農と両立したソーラーシェアリングの状況と、今後について。
- 7 市民の9割以上が地球温暖化やエネルギー問題に関心がありますが、市民に対し分かりやすい具体的な取組みと普及啓発について。
- 8 次年度、脱炭素支援投資として、GX推進対策費の活用計画について。

答弁を求める者 市長

議 員 名	菅原 福治
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 <input type="checkbox"/> 一問一答

No. 2 質問件名 高齢者が活躍できる環境づくりについて

【質問要旨】－簡明に－

2025年問題は、団塊の世代の全てが75歳以上、後期高齢者は人口の5人に1人、65歳以上は高齢者人口の4人に1人が達し、少子化も進み深刻な働き手不足が予想されています。

高齢者は、元気で仕事に意欲があり、豊富な経験と高い知識を持っていますが、高齢者の7割近くが、65歳を過ぎても働きたいと願っているにもかかわらず、実際、働いている人は2～3割程度と聞いており、本市においても、退職者が急増しリタイアした高齢者が、第二の職場を望んでも、活躍できる場が見つからず、家に閉じこもる高齢者が多くおります。

一方、厚生労働省においては、高齢者が就労に向けた第一歩を踏み出すためのセミナー等、人と企業のマッチングを図る、高齢者雇用安定法第34条・第35条に基づいた、生涯現役促進地域連携事業を立ち上げています。

これからは生涯現役社会の実現のためにも、雇用の延長に向けて、雇用の継続や定年引上げに向けた環境を整え、働きたいと願っている人のために、就業の機会を提供する仕組みが必要と考えます。

以下、本市の高齢者就労の現状と方向性について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市における、高齢者の就労環境の現状と課題について。
 - 2 高齢者における、直近の失業率と有効求人倍率の傾向について。
 - 3 ハローワーク、シルバー人材センター及び社会福祉協議会等との具体的な就労支援内容と日常的な連携について。
 - 4 生涯現役促進地域連携事業の実施について。
 - 5 本市において、新しい仕事への適応を支援する、就労セミナーや就労相談窓口の設置について。
-

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	4
受付月日	2月17日(月)
受付時間	10:50

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 2月17日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 2 番 佐藤 浩崇

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	佐藤 浩崇
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 本市の起業支援施策の成果と課題は

【質問要旨】－簡明に－

地域経済の活性化や雇用創出の観点から、起業支援は市の重要な施策の一つです。特に、地方都市においては、若者や移住者の起業を促進することで地域の魅力を高め、持続可能なまちづくりにつなげることが求められます。本市でも、これまで創業支援制度の充実やコワーキングスペースの整備など、起業を後押しする取り組みが積極的に進められてきました。令和7年度で本市の総合計画が最終年度を迎えるにあたり、これまでの取り組みの実効性や課題を整理し、新たに策定する総合計画の方向性をどのように検討していくかが重要と考えます。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市がこれまで実施してきた起業支援策の成果として、具体的に過去数年間で創業した事業者数や、市の支援を受けた事業者の事例など、定量的・定性的な成果をどのように評価しているかをお示してください。
 - 2 起業後の事業継続率を高めるためのフォローアップ支援や、資金調達の支援、販路拡大の支援などが十分であるか、市の見解を伺います。
 - 3 市の起業支援策が多様な起業ニーズに対応できているか、市の見解を伺います。
 - 4 地域資源を活かした起業を促進することは、地域経済の活性化にもつながります。本市ならではの地域資源を活かした起業支援策について、市の見解を伺います。
 - 5 起業家同士のネットワークづくりや、大学・金融機関・商工会等との連携を強化し、創業支援のエコシステムを構築することも重要と考えます。こうした連携をどのように進めていくのか、市の見解を伺います。
 - 6 全国的に注目されている「学生向けのビジネスコンテスト」などを導入してはとありますが、市の見解を伺います。
-

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	5
受付月日	2月17日(月)
受付時間	11:22

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 2月17日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 13 番 浅野 直子

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 健康推進について

【質問要旨】－簡明に－

年齢を問わない健康で元気に暮らせる健康寿命の延伸には、様々なプログラムが必要ですが、自発的な健康維持に努めることも大事であると考えます。また、若い世代に対する健康意識・健康づくりへの関心度を高める取り組みは非常に大事であると思っています。

今年の1月に出産して間もない赤ちゃんを雪の中に埋めるという痛ましい事件がありました。周りは妊娠すら気が付かなかったという環境です。心身共にコミュニティによる健康家族を目指すなど、実効性のある取り組みを伺います。

また、「プレコンセプションケア」の取り組みは、若い世代に健康管理を促し、妊娠などを考えている方へ人生設計に役立ててもらうことを目的としていることなども周知も必要です。

子ども家庭庁における「健やか親子21」推進の中で、「全ての子どもが健やかに育つ社会を目指す」となっていることもあり、本市における家族全体で健康意識を高め、健やかな健康家族の啓発等、今後の取り組みについて以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市の死亡原因が糖尿病や生活習慣病によるものが変わらず上位であり、他の自治体より高いとされることについて見解を伺います。
- 2 健康ポイント事業の充実を図るべきであると考えますが見解を伺います
- 3 居住する地域で散歩コースや運動などを組み立て継続して参加を促し、個人の見える化でデジタルを活用した健康維持に繋がる取り組みなど伺います。
- 4 地域コミュニティは健康づくりの一翼を担う活動であり、少人数の活動なども楽しく参加できるメニューの提供（動画）などSNSの活用について伺います。
- 5 若い世代への健康意識を高める取り組みについて伺います。
- 6 特に思春期から青年期に対する「プレコンセプションケア」の取り組みについて見解を伺います。
- 7 健やかに心豊かに健康寿命の推進に向けた環境整備について伺います。

答弁を求める者 市長

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 産後ケアと「産後ドゥーラ」について

【質問要旨】－簡明に－

本市の産後ケアの支援により、生み育てられる環境は安心です。産後ケア事業の拡充もありますが、資格を持った産後ドゥーラを利用出来る「育児ヘルプサービス支援」も大変重要であると考えます。こども家庭センターへの移行もあり、産前産後時から母子支援まで切れ目ない事業により一層の充実が図られます。

育児ヘルプ家庭訪問事業として、産後ドゥーラサポートを展開している自治体も全国に広がっています。安心の上乗せに、より充実した補助で「産後ドゥーラ」の利用が出来る体制の構築を求め、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市の産後ケア事業の現状について伺います。
- 2 産後ケア事業の今後について伺います。
- 3 富谷育児ヘルプサービスに産後ドゥーラ利用の導入について伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	6
受付月日	2月17日(月)
受付時間	12:23

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 2月17日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 12 番 長谷川 る美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 ロープウェイ構想について

【質問要旨】－簡明に－

アンケート調査の結果から、泉中央までのアクセスの向上が多くの市民が求める施策のトップであったことから、今まで様々な公共交通の調査を行ってきました。しかし、難度の高い様々な課題もあることから、これからの時代の公共交通を担えるものとして自走式ロープウェイの導入可能性調査を実施することになりました。

以下、質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市における公共交通の利用状況や交通渋滞の現状と、ロープウェイ導入がこれらの課題解決にどのように寄与すると考えますか。
- 2 予定されている調査の詳しい内容について。
- 3 仙台市に理解協力を得るための方策は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 2 質問件名 富谷市複合図書館について

【質問要旨】－簡明に－

市民からの要望が多かった図書館について、当初単独で事業を進めてきました。しかし、スイーツステーションと児童屋内遊戯施設を複合併設することにより、整備効率の向上とコスト縮減、多様性の創出による相乗効果が見込まれると判断し、これら3施設を複合施設として整備することになりました。総合的かつ効果的な整備を求め、以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 複合施設としての管理運営計画の策定に対する見解は。
- 2 より効果的な施設整備のために、どのような点に注力して予算配分をおこないましたか。
- 3 スイーツステーションに障がい者のための就労支援カフェを整備することについての見解は。
- 4 スイーツステーションの目的の一つである起業家育成のための支援や、起業を促すための具体的な取り組みは。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	7
受付月日	2月17日(月)
受付時間	15:04

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 2月17日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 4 番 須藤 義

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	須藤 義
質問方式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 本市の熊対策について

【質問要旨】－簡明に－

本州に生息するツキノワグマは食べ物のほとんどを植物に頼り、本来は性格も臆病な動物と言われています。それでも、状況によっては人身被害を起こしたり、農作物被害をもたらしたりすることも事実です。

本市では昨年の令和6年、50件もの目撃情報が寄せられ、不安を感じている市民の方も多くいます。中には杜乃橋や上桜木など子どもが多い住宅街での目撃情報もありました。幸いにしてまだ人身被害は発生していないものの、住宅街や学校近くで熊の目撃情報が寄せられるたび、子どもを持つ親御さんたちからは、「いつ自分の子どもが被害に遭わないかと不安だ」との声が寄せられています。

よって本市では人間と熊が適度な距離を保ちながら共に暮らす方法を模索しながらも、市民の安全を守ることに對して更に積極的な対策をしていくべきと考え、以下のとおり質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市における熊対策の基本方針は。
- 2 本市で熊による人身被害を防ぐために行っている対策は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	須藤 義
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 盲ろう者支援施策について

【質問要旨】－簡明に－

視覚と聴覚の両方に障がい併せ持つ人のことを「盲ろう者」といいます。日本全国には1万4,000人ほどいると推計されていますが、富谷市にも、この「盲ろう」の障がいを持つ市民の方がいます。

これまで本市では視覚障がい者を対象とした広報誌の音声版を用意したり、聴覚障がい者のため手話奉仕員養成研修や、先天性難聴を早期発見するための新生児聴覚検査を実施するなど、障がいを持つ方のための施策へ積極的に取り組んできました。その姿勢は高く評価されるべきものと思います。

しかし一方で、盲ろう者は目と耳という人間の主要な2つの感覚機能に障がい併せ持つため、情報の入手やコミュニケーション、移動などさまざまな場面で困難が生じます。例えば、彼らは視覚障がいだけでなく聴覚障がいもあるため本市が提供している音声版の広報誌からさえも情報を得ることができません。自力で移動しようにも市のホームページに書かれている市民バスの時刻表が読み取れません。

したがって従来の「視覚障がい」や「聴覚障がい」といった単一障がいに対する支援のみならず、「盲ろう」という障がいの独自性に応じた支援が必要とされています。この障がいを持つ方は決して人数が多いわけではありませんが、本市が提供する市民サービスにアクセスできないまま置き去りにされてよいわけではありません。

「誰一人取り残さない社会」の実現を目指し、視覚と聴覚の両方に障がいのある盲ろう者が地域で自立した生活を送り、社会参加をするための支援体制が必要とされると考え、以下のとおり質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市における盲ろう者の人数及び相談支援体制は。
- 2 市内の交差点は盲ろう者が横断するための安全対策がとられていますか。
- 3 複合図書館ユートミヤに点字の本が配置される予定はありますか。
- 4 広報とみや、市民バス時刻表、市政懇談会の3項目について、「情報アクセシビリティ」及び「情報保障」の観点からの課題は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	8
受付月日	2月17日(月)
受付時間	15:50

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 2月17日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 1 番 小松 大介

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	小松 大介
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 田園都市構想と食糧安全保障について

【質問要旨】－簡明に－

本市の総合計画や都市計画マスタープランに「田園都市構想」や「自然環境と都市の調和」という表現が多く見受けられますが、なかなか具体的なアクションが乏しいように感じます。田園都市構想を考えるうえで、農家と都市部の方々との交流や意思疎通が必要不可欠です。

一方、令和の米騒動とも表現される、昨年夏から続く米の価格高騰を受け、政府が備蓄米を放出しました。そんな中で農水省が食糧供給困難事態対策法という食糧安全保障に関する法律を整備すると発表いたしました。混乱する農業情勢に拍車をかけるような法案であり、農家からも懸念の声が出ています。

市民農園の充実は、平時から耕作放棄地・遊休地を有効活用し、農を身近に感じられる環境を整備することで消費者の食に対する意識の向上につながり、同時に食糧安全保障にもつながります。また、都市近郊で、中山間地の多い本市の地の利を最大限生かせる農業のビジネスモデルとして市民農園や体験型農業は、最適な選択肢の一つとして積極的に推進していただきたいと思い、以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市が都市計画マスタープランで掲げる田園都市構想は来年度予算や、策定中の市の総合計画にどのように反映されますか。
- 2 自然環境と都市の調和の観点で、農業が果たす役割は大きいと感じますが、本市の見解と具体的なアクションプランは。
- 3 市民農園の充実に向けて、アンケート調査の意図と、今後、民間事業者との連携を図る可能性は。
- 4 本市の食育推進計画と農の関連性および、部署間の連携は。

答弁を求める者 市長

議員名	小松 大介
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/>

No. 2 質問件名 混乱する社会情勢を見越して

【質問要旨】－簡明に－

トランプ新大統領が就任後、衝撃的ともいえる政策が連日次々と発表され、主要メディアをはじめとして、多くの日本国民が混乱しています。一方で、ナショナリズム（自国最優先主義）という考え方を主張する政党は、西欧諸国など、世界各地で次々誕生し、急速に支持を拡大しています。特にBURIC Sはナショナリズムを主張する国々の集合体で、急速に世界の影響力を加速させています。

そのような世界情勢の中、日本も先進国の一員として、また、アメリカの友好国として、他人事ではありません。そして同時に、本市の市政においても少なからず影響が出てくることが想定されます。

移民問題は埼玉県川口市のクルド人問題や、ニセコや安比に代表される土地取得問題に関連します。パリ協定の離脱はゼロカーボンシティを宣言する本市にとって、その方向性を問われかねません。ポリティカルコレクトネスやLGBTQ+に代表される過度な多様性の主張は、社会的混乱を及ぼしています。USAIDの解体はメディアの在り方を根本から見直す必要性を迫られています。以上を踏まえ質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 多文化共生の取り組みについての見解は。
- 2 カーボンニュートラルと地球温暖化について見解は。
- 3 過度な多様性（LGBTQ+等）の主張がもたらす混乱の対策は。
- 4 本市の情報発信における現状と工夫は。

答弁を求める者 市長

議員名	小松 大介
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input checked="" type="checkbox"/>

No. 3 質問件名 メディアリテラシー教育について

【質問要旨】－簡明に－

昨今、テレビ・新聞をはじめとするオールドメディアと、YouTube・Xなどに代表されるニューメディアの情報の乖離が問題視されています。さらにChatGPTをはじめとするAIによる情報も加わり、超情報化社会と言われる時代に入るといわれています。

そのような時代背景において、情報を正しく分析し、取捨選択する判断能力を養う必要があります。実際、メディアリテラシー教育を学校教育に積極的に取り入れる県や自治体が増えています。

本市でも、こどもにやさしいまちづくりを推進するうえでSociety 5.0と言われる情報化社会のさらに先を想定し、将来活躍する子供たちに対して、一丸となって取り組む必要があると思います。以下質問いたします。

【質問項目】－列記－

- 1 本市におけるメディアリテラシー教育の取り組みは。
- 2 Society 5.0の社会を見据えた教育の在り方について見解は。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	9
受付月日	2月18日(火)
受付時間	10:54

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 2月18日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 5 番 嶋山 由美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	畠山 由美
質問方式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 これからの子育て支援について

【質問要旨】－簡明に－

本市では、子育てサロンやシルバー人材センター運営の「ほっと育く」で一時預かりを行っています。令和5年12月、こども家庭庁よりこども未来戦略「加速化プラン」において、全てのこども・子育て世帯を対象とする支援の拡充として、今後3年間の集中的な取り組みが示されました。その中の一つに、全ての子育て家庭を対象とした保育の拡充として「こども誰でも通園制度」の創設が掲げられました。就労要件を問わず、保護者が通院したい時など、月10時間以内で保育所などの施設に通わせることができる新たな制度で、令和8年度から全国的にスタートする予定です。

また、「5歳児健診」は言葉の理解力が大きく伸び、友達との関わりも増える時期のため、それまで気づけなかった発達の特徴がみえてくることから、令和10年度までに全国で受診できる体制作りを目指しています。

本市では独自に5歳児に対してチェックシートによるアンケート調査を実施していますが、今後はこれらの実績を踏まえ、さらなる支援拡充に向けた取り組みが望まれます。これからの子育て支援施策の推進について、以下質問いたします。

【質問項目】－列記－

- 1 待機児童ゼロ対策の現状と課題について。
 - 2 「こども誰でも通園制度」は令和8年度から全国でスタートする予定ですが、本市の現状と課題について。
 - 3 「こども誰でも通園制度」を開始した時の利用料金について。
 - 4 5歳児チェックシートによる回答からみえてきたこと及び就学前の支援の現状について。
 - 5 「5歳児健診」を実施する場合の課題と問題点とその後の対応について。
-

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	10
受付月日	2月18日(火)
受付時間	11:22

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 2月18日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 14 番 出川 博一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	出川 博一
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 7年度当初予算案の重点事業は

【質問要旨】－簡明に－

「令和7年度は、第1次富谷市総合計画の最終年度であることを踏まえ、各施策の進捗状況や目標達成状況を検証しながら事業の選択と集中を進め、予算編成しました」と、施政方針で述べられております。

その結果、令和7年度一般会計当初予算案は、総額209億2,000万円、対前年度比23億3,100万円、12.5%増と、6年連続で過去最高額を更新する規模となりました。

歳出の主な増加要因とされた7事業の重点施策等について、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 富谷市複合図書館整備の進捗状況は。
- 2 スイーツステーション・屋内遊戯施設の委託事業者の選定は。
- 3 図書館に配置する什器や書籍の備品購入・搬入時期は。
- 4 各公民館図書室のリノベーション事業の内容と動向は。
- 5 市立小・中学校コンピューター教育事業について。
- 6 発酵のまちづくり推進事業（全国発酵食品サミット）とは。
- 7 国庫補助金として「重層的支援体制整備事業交付金」として合計1億264万円の歳入計上されているが、配分の考え方と事業内容は。

答弁を求める者 市長

議員名	出川 博一
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/>

No. 2 質問件名 都市型自走式ロープウェイとは

【質問要旨】－簡明に－

本市の「基幹公共交通システム」の整備について、従来の地下鉄延伸やバス高速輸送システム（BRT）導入に加え、「都市型自走式ロープウェイ」の導入も検討する方針を示されました。昨年11月27日に開かれた地域公共交通活性化協議会の第3回会合で明らかにされ、令和7年度一般会計当初予算案にも、都市型自走式ロープウェイの導入可能性調査業務 委託料340万円が計上されています。

都市型自走式ロープウェイについて、以下質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 令和7年1月9日に行われた視察の内容と感想は。
- 2 令和7年度一般会計当初予算案計上の委託内容は、どのようなものか。
- 3 開発している事業所において、営業運転の実績はあるのか。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	11
受付月日	2月18日(火)
受付時間	11:40

一 般 質 問 通 告 書

令和7年2月18日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 6 番 荒谷 敏

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	荒谷 敏
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 中学校部活動の地域移行の推進について

【質問要旨】－簡明に－

部活動地域移行については、文部科学省より、令和5年から令和7年までを「改革推進期間」と示され、本市においても、学校部活動等地域移行検討協議会を設置し、アンケート調査や研修会などを開催され、昨年度からは先行実証地域クラブ認定制度を実施するなど地域移行推進に取り組んでおられます。

この度の改革は、100年以上も続いてきた学校部活動のあり方が、大きく変わろうとする時代を迎えています。これまで中学校が主体となってきた部活動が、新たに地域が主体となる地域クラブ活動への移行や外部指導員等の活用など、部活動の地域移行や地域連携を進めていくための環境をどう構築するのかという視点が重要になると思います。

学校教育の一環としての部活動は、スポーツに興味と関心をもつ生徒がより高い水準を目指し挑戦するなかで、生きる力を育み豊かで充実した生活を送ることであり、文化活動は芸術文化に親しみ、多様な表現や鑑賞の活動を行うこととされてきました。このようななかで、地域移行については課題も多く、受け皿となる団体や指導者の確保、保護者の負担など多岐にわたり困難な状況ではないかと思われま

す。なによりも、本当に子どもたちのためになる改革、今後も持続可能な取り組みになるのかが重要だと思います。

以上のことから、学校部活動の地域移行は、本市が掲げる「創造性豊かな教育環境のまちづくり」を実現するための大事な取り組みと考え、以下の点を伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 部活動の地域移行の現状について伺います。
- 2 地域での受け皿について伺います。
- 3 先行実証地域クラブ活動認定制度の現状について伺います。
- 4 子どもが希望する地域クラブの発掘・育成・支援の具体策について伺います。
- 5 持続可能なスポーツや文化活動の具体的な環境整備について伺います。
- 6 現状での課題や問題点は何があるのか伺います。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	12
受付月日	2月19日(水)
受付時間	10:06

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 2月19日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 8 番 渡邊 清美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	渡邊 清美
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/>

No. 1 質問件名 国民健康保険について

【質問要旨】－簡明に－

国民健康保険は、今後、都道府県での保険料（税）水準の統一化が図られます。急激な保険料の増加の対策として、近隣自治体では、段階的な保険料の見直しも検討されています。

昨今物価高騰が続き、国民健康保険加入者の生活に大きな影響を及ぼしています。

国民健康保険料（税）水準の統一化までの、対策、基金の活用が必要と考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 国民健康保険料（税）水準統一化に向けた本市の対策は。
- 2 国民健康保険料（税）水準統一化について県との話し合いの状況は。
- 3 国民健康保険税の急激な上昇を抑える対策は考えているのか。
- 4 国民健康保険税の軽減、減免の状況は。
- 5 国民健康保険税の滞納の現状と、生活実態の把握は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	13
受付月日	2月19日(水)
受付時間	10:23

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 2月19日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 9 番 村上 治

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	村上 治
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 次期富谷市総合計画について

【質問要旨】－簡明に－

令和7年度には現在の富谷市総合計画が最終年度となります。次期の富谷市総合計画を策定するにあたり「住みたくなるまち日本一」を目指すためには、現段階における各種施策の実行状況を的確に把握することが必要です。そしてその結果を次期富谷市総合計画に適切に反映させていくことが重要です。そこで今回は、富谷市総合計画後期基本計画の第1編「暮らしを自慢できるまち！」第3章「安全で自由に移動できる便利なまちを創ります」3-1公共交通に焦点を当て、以下の点について伺います。

【質問項目】－列記－

- 1 公共交通の計画達成現状及び次期計画への反映は。
 - ① 達成できる事業、達成が難しい事業は。
 - ② 達成が難しい事業の次期計画への反映は。
 - ③ 計画に対する市民の受け取り・要望及び次期計画への反映は。
 - ④ ひより台地区のスーパー閉店に伴う対応及び次期計画への反映は。

答弁を求める者 市長